

「今、私の晴雨計は！」

(63)

「私はAB型男ですー血液型は  
当たるも八卦？」

平山征夫

前々回「トリセツ」の話題から  
男女の思考の違いがいかに大き  
いか、妻への賢い対応の仕方など  
を話題にしたが、実はもう一冊  
「トリセツ本」を読んだ。それは  
「AB型男の取扱説明書」(神田和  
花・新田哲嗣著)で、このシリー  
ズには血液型、男女ごとに8冊の  
トリセツ本がある。「戦」の常道  
として「己を知る」ため自分の血  
液型であるAB型男のこの本を読  
んだのだが、本当は併せて「敵を  
知る」べく妻の血液型である「O  
型女の取扱説明書」も読むべきな

のだが、そこまではまだしていな  
い。更にはこの本を妻に読ませて  
より適切な私の扱い方をマスタ  
ーして貰いたいとも考えたが、こ  
ちらの習性をばらすのは逆効果  
かもしれないと思い、迷いながら  
まだ見せていない。

本書では、AB型男性の特徴が  
次のように列挙されている。念の  
ため私自身が身に覚えがある項  
目には○をつけてみた。それなり  
に当たっている。

- ・ AB型男は、ミステリアスであ  
る。(○)
- ・ AB型男は、「隠れキリシタン」  
である。(心の中心に「他人をこ  
れ以上入れない」という境界線  
を持っていて、自分を守るため  
には鉄仮面を被る、の意)

- ・ AB型男は、決して器用ではな  
い。(○)
- ・ AB型男は、寂しがり屋でセン  
チメンタル。(○)
- ・ AB型男は、世間体が最も大事
- ・ AB型男は、女性から「すごい  
と思われたい。
- ・ AB型男は、女性は自分だけの  
ものであつて欲しいと思つて  
いる。(○、当り前)
- ・ AB型男には、誠実さと情熱は  
絶対不可欠である。(○)
- ・ AB型男は、ギャンブル好きで  
ある。

- ・ できる合理性がある。(○)
- ・ 自分の主張をまず言わない。相  
手の意見を聞きだすが大変  
上手い。
- ・ 群れるのが嫌いで一匹狼である  
うとするくせに寂しがり。(○)
- ・ 冗談を言つても周りの人は冗談  
だと思つてくれない。(○、わ  
が最大の悩み)
- ・ 自意識過剰で我が強い。
- ・ 「役立たず」と思われるのが怖  
いので、面倒なことでもきちん  
とやる。(前半○)
- ・ 好きな女性に「ほっとけない男」  
だと思つてもらいたい。(かつ  
ては○)
- ・ まだまだあるがもういいだろう。  
この後に「AB型男との接し方」、  
続いて「AB型男の取り扱い方」

が細かく述べられているが、ここで詳述するのは避けたい。何故なら「時々冷たく突き放す」とか「そっけない態度をとる」「叱るときは冷ややかに」など穏やかならざるサジェスションが見られるからだ。確かにAB型はプライドが強いところがあるので、時折冷たく扱ってプライドを傷つけることとより強い関心を持つように仕向ける策戦なのだろう。そう思ったからこそ結論が出た。妻にはこの本を読んで貰う必要はなさそう。何故なら読むまでもなく十分扱い方をマスターしているから・・・。

変敵しい係長に皆が対応に苦慮していたので、昼休み覗いた本屋でたまたま見つけた「血液型による上司への仕え方」という本を買ってきて、回し読みしたのがきっかけ。その上司はB型で典型的な突撃命令型だった。戦時中日本陸軍は血液型の研究をしていて、「突撃」命令をだす小隊長にはB型を充てていたという話を讀んだ記憶があった。この本は少し皆を落ち着かせたようだったが、思わぬ展開が待っていた。ある日係長が「平山、血液型は何型か？」と聞いてきた。「AB型です」と答えると「それで解った。お前が使いにくいのが・・・」と言う。見ると係長の手にあの本があった。返された本を見ると、「B型上司

が使いにくい部下」という項目があり、そこにはAB型と書かれていた。これがきっかけで血液型による相性に関心を持った。占いをするわけでもないのに、単なるお遊びなのだが、意外と当たるので、酒の席などで少し得意になって講義している。それは、私が考案した「時計型相性論」だ。時計になぞらえて、12時のところをA型、3時のところをB型、6時O型、9時AB型と置くと、相性は時計回りになるというものだ。すなわちA型はB型と相性が良い（好きになる、ないし惚れやすい）、B型はO型、O型はAB型、AB型はA型とを好むと言う論で、現に夫婦でみると

この組み合わせがかなり多い。我が夫婦自身O型の妻とAB型の私だが、これまで結婚以外でも職場などで相性の良い女性の殆どはO型だったので、かなり信じている。この説によれば、我が夫婦の場合、O型の妻がAB型の私に惚れたということになるのだが、結婚生活45年未だ私のこの偉大な研究成果は認められていない。以前読んだ本の記憶では「O型は好き嫌いがはっきりしていて、目的達成のための集中力は抜群に高い。だからオリンピックの金メダリストの半分はO型である」、そして「単純明快なO型の女性はAB型男性の神秘さに惹かれやすい。ただ、それで結婚すると一ヶ月もするとその神秘さの底も割

れて失望することが多い」とあった。我が家はどうかだったのだろう。今更確認してもあまり意味がないとは思いますが、死ぬまでに聞いておきたいような気もする。

もマスターした訳で、後はそれを承知の上でのどう個別対応するかになるわけで、穏やかな老後生活を目指してお互い賢く対応したいものだ。

私が唱える「血液型相性論」如

(令和元年9月17日)

何ですか？ご自分のケースについて「あっているかどうか」お会いした時お聞かせください。貴重な観察データですので・・・(なお、同じ血液型同士と、AとO、BとABのような時計の対面同士の場合は、前者を似た者夫婦、後者をないものねだり夫婦と言って、合えば最高に良いけれど合わないと酷いことになる、と言っている。念のため申し添える)。

これで男女の相性については、元々の脳の違いに加えて、血液型



